

寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会 発行

YOSEGAKI : Saitama Konchyu Danwakai

三峰山半シ類採集記

野沢雅美

今年(1978年)の夏、7月26~27日に生物部生徒と一泊二日で、埼玉県秩父郡大滝村の三峰山において、主として半シ類昆虫の採集を試みた。

当日は小規模の夕立ちがあったものの天候に恵まれ、とくにカメムシ科の中でも大型で金緑色光沢をもつツノアオカメムシが最盛期で、カエデ等の広葉樹の幹上に多くの個体が見られた。また誘カ燈による夜間採集によって充実した採集ができ、しかも、本会々員の碓井 徹・寺山守の両氏とも出合い、楽しい一時を過ごすことが出来た。当然のことながら、燈火に集まったものでメクラカメムシ科に種名不詳のものがあり、現在同定依頼中である。

三峰山での採集リストは次のとおりである。

カメムシ科 PENTATOMIDAE

1. *Carbula humeriger* (UHLER) トゲカメムシ
2. *Palomena angulosa* MOTSCHULSKY エゾアオカメムシ
3. *Dolycoris baccarum* (LINNE) フチヒゲカメムシ
4. *Pentatoma japonica* (DISTANT) ツノアオカメムシ
5. *P. rufipes* (LINNE) アシアカカメムシ

ツノカメムシ科 ACANTHOSOMATIDAE

6. *Acanthosoma denticauda* JAKOVLEV セアカツノカメムシ
7. *Elasmucha putoni* SCOTT ヒメツノカメムシ
8. *Dichobothrium nubilum* (DALLAS) アオモンカメムシ

クヌギカメムシ科 UROSTYLIDAE

9. *Urochela luteovaria* DISTANT ナシカメムシ

オオホシカメムシ科 LARGIDAE

10. *Physopelta cineticillis* STAL ヒメホシカメムシ

サシガメ科 REDUVIIDAE

11. *Reduvius humeralis* (SCOTT) クビアカサシガメ

マキバサシガメ科 NABIDAE

12. *Himacerus apterus* (FABRICIUS) ハラヒロマキバサシガメ

ナガカメムシ科 LYGAEIDAE

13. *Pachybrachius lateralis* (SCOTT) キベリヒョウタンナガカメムシ
14. *Nysius plebejus* DISTANT ヒメナガカメムシ

ハナカメムシ科 ANTHOCORIDAE

15. *Ampiareus obscuriceps* POPPIUS ヤサハナカメムシ

メクラカメムシ科 MIRIDAE

16. *Deraeocoris brachialis* STAL オオモンキクロメクラガメ
 17. *Plagiognathus arubustorum* (FABRICIUS) ヨモギメクラガメ
 18. *Stenodema rubrinerve* HORVATH アカミヤクメクラガメ
 19. *Lygadelphus rubripes* (JAKOVLEV) アシアカクロメクラガメ
 20. *Adelphocoris triannulatus* (STAL) フチヒゲクロメクラガメ
 21. *Proboscidocoris longicornis* (REUTER) クロセダカメクラガメ
 22. *Creontiades tricolor* (SCOTT) オオチャイロメクラガメ
 23. *Lygocoris idoneus* (LINNAVUORI) ムモンミドリメクラガメ
 24. *Phytocoris chataensis* LINNAVUORI オオマダラメクラガメ
 25. *Miridae* sp. a
 26. sp. b
 27. sp. c
 28. sp. d
 29. sp. e

セミ科 CICADIDAE

30. *Tibicen japonicus* KOTO エゾゼミ
 31. *T. bihamatus* MOTSCHULSKY コエゾゼミ

アワフキムシ科 CERCOPIIDAE

32. *Yezophora flavomaculata* MATSUMURA モンキアワフキ
 33. *Trigophora obliqua* UHLER ヒメシロオビアワフキ
 34. *Obiphora intermedia* UHLER シロオビアワフキ
 35. *Petaphora maritima* MATSUMURA ハマベアワフキ
 36. *Sinophora maculosa* MELICHAR クロフアワフキ

ツノゼミ科 MEMBRACIDAE

37. *Orthobelus flavipes* UHLER ツノゼミ

コガシラアワフキ科 TOMASPIDIDAE

38. *Euscartopsis assimilis* UHLER コガシラアワフキ

フチミヤクヨコバイ科 DRABESCIDAE

39. *Drabescus nigrifemoratus* MATSUMURA フチミヤクヨコバイ

オオヨコバイ科 TETTIGELLIDAE

40. *Tettigella viridis* LINNE オオヨコバイ
 41. *Bothrogonia japonica* ISHIHARA ツマグロオオヨコバイ

フトヨコバイ科 ERRHOMENELLIDAE

42. *Epiacanthus guttiger* UHLER クワキヨコバイ

カンムリヨコバイ科 EVACANTHIDAE

43. *Oniella levcocephala* MATSUMURA シロスオオヨコバイ

トガリヨコバイ科 SCAPHITOPIDAE

44. *Japananus hyalinus* OSBORN ミスジトガリヨコバイ

ズキンヨコバイ科 IDIOCERIDAE

45. *Idiocerus ishiyamae* MATSUMURA シロズキンヨコバイ

ヨコバイ科 DELTOCEPHALIDAE

46. *Deltocephalidae* sp.

なお、夜間採集の場所は三峰山ケーブル山頂駅の上の売店近くである。

(埼玉県大里郡寄居町桜沢2399~1 公舎2号)

登谷山・二本木峠・釜伏峠周辺のアリ類

寺山守

外秩父山地の北部に位置する登谷山・二本木峠・及び釜伏峠を中心とした地域において、これまでに採集し得たアリ類(膜シ目・アリ科)をまとめてみたので、ここに発表しておきたい。

リストは、学名・和名・採集例の順に記し、採集例は、場所・年月日・性別および階級(カースト)の順に、一種につき四例までを記しておいた。

ハリアリ亜科 PONERINAE

- 1) *Brachyponerid chinensis* (EMERY) オオハリアリ
東秩父村落合 20-V- '76 ♀.
- 2) *Cryptopone sauteri* (WHEELER) メクラオオハリアリ
東秩父村上山 20-V- '76 ♀.

フタフシアリ亜科 MYRMICINAE

- 3) *Crematogaster teranishii* SANTSCHI ※
東秩父村(二本木峠) 2-IV- '76 ♀, 東秩父村(登谷山) 20-V- '76 ♀.
- 4) *C. matsumurai* FOREL ハリフトシリアゲアリ
東秩父村(二本木峠) 20-VI- '74 ♀.
- 5) *C. osakensis* FOREL キイロシリアゲアリ
東秩父村上山 29-VI- '75 ♀, 寄居町波久礼 20-V- '76 ♀・♀.
- 6) *Strumigenys lewisi* CAMERON ウロコアリ
東秩父村(登谷山) 29-VI- '75 ♀.
- 7) *Pristomyrmex pungens* MAYR アミメアリ
皆野町(二本木峠) 20-VI- '74 ♀, 皆野町日向 20-V- '76 ♀,
寄居町波久礼 27-IV- '75 ♀, 寄居町波久礼 16-VI- '76 ♀.
- 8) *Messor aciculatus* (FRED. SMITH) クロナガアリ
東秩父村落合 15-X- '75 ♀.
- 9) *Pheidole fervida* FRED. SMITH アズマオオズカアリ
寄居町(釜伏峠) 27-IV- '75 ♀・♀・♀, 皆野町能林 20-V- '76 ♀・♀,
寄居町(釜伏峠) 25-VI- '75 ♀・♀,
東秩父村(二本木峠) 18-VI- '78 ♀・♀.
- 10) *Monomorium nipponense* WHEELER ヒメアリ
皆野町(登谷山) 20-VI- '74 ♀, 皆野町(愛后山) 16-VI- '76 ♀,
東秩父村落合 29-VI- '75 ♀・♀, 東秩父村(登谷山) 26-VI- '76 ♀.
- 11) *Vollenhovia emeryi* WHEELER ウメマツアリ
東秩父村(登谷山) 27-K- '74 ♀, 皆野町平草 27-K- '74 ♀・♀,
皆野町(愛后山) 16-VI- '76 ♀.
- 12) *Tetramorium caespitum* (LINNAEUS) トビイロシワアリ

- 東秩父村 (登谷山) 15-X-'75 ♀, 東秩父村 (登谷山) 26-VI-'76 ♀,
 皆野町 (二本木峠) 27-IV-'75 ♀, 東秩父村上山 18-VI-'78 ♀.
- 13) *Technomyrmex gibbosus* WHEELER ヒラフシアリ
 東秩父村 (二本木峠) 2-IV-'76 ♀.
- クマアリ亜科 FORMICINAE
- 14) *Formica yessensis* FOREL エゾアカヤマアリ
 皆野町 (二本木峠) 2-IV-'76 ♀・♀
- 15) *F. japonica* MOTSCHULSKY クロヤマアリ
 寄居町 (釜伏峠) 29-VI-'75 ♀, 寄居町 (釜伏峠) 25-VI-'75 ♀,
 皆野町 (二本木峠) 2-IV-'76 ♀, 東秩父村 (新新田峠) 20-V-'76 ♀.
- 16) *Lasius niger* (LINNAEUS) トビイロケアリ
 東秩父村 (登谷山) 15-X-'74 ♀, 寄居町波久礼 29-VI-'75 ♀,
 皆野町高中 27-IV-'75 ♀, 東秩父村上山 18-VI-'78 ♀.
- 17) *L. sakagami* YAMAUCHI et HAYASHIDA ※
 東秩父村落合 15-X-'74 ♀, 寄居町波久礼 30-VI-'77 ♀・♀.
- 18) *L. productus* WILSON ※
 東秩父村 (新新田峠) 20-V-'76 ♀, 皆野町強石 26-VI-'76 ♀,
 皆野町 (愛后山) 16-VI-'76 ♀.
- 19) *L. fuliginosus* (LATEILLE) クロクサアリ
 寄居町波久礼 29-VI-'75 ♀, 東秩父村 (二本木峠) 2-IV-'76 ♀,
 東秩父村 (二本木峠) 20-V-'76 ♀・♂・♀.
- 20) *Polyergus samurai* YANO サムライアリ
 寄居町波久礼 30-VI-'77 ♀
- 21) *Paratrechina flavipes* (FRED. SMITH) アメイロアリ
 寄居町 (釜伏峠) 29-VI-'75 ♀, 東秩父村上山 18-VI-'78 ♀・♀.
- 22) *P. sakurae* (ITO) サクラアリ
 寄居町波久礼 29-VI-'75 ♀.
- 23) *Camponotus japonicus* MAYR クロオオアリ
 東秩父村 (二本木峠) 20-VI-'74 ♀, 皆野町 (登谷山) 29-VI-'75 ♀,
 皆野町強石 27-IV-'75 ♀, 寄居町 (釜伏峠) 25-VI-'75 ♀.
- 24) *C. obscuripes* MAYR ムネアカオオアリ
 東秩父村 (二本木峠) 20-VI-'75 ♀・♀, 寄居町 (釜伏峠) 25-VI-'75 ♀,
 皆野町 (登谷山) 27-IV-'75 ♀, 寄居町芝入 18-IV-'76 ♀・♀.
- 25) *C. nawai* ITO ナフヨツボシオオアリ
 寄居町 (釜伏峠) 9-II-'75 ♀, 皆野町 (二本木峠) 9-II-'75 ♀・♀,
 皆野町高中 27-IV-'75 ♀・♀, 皆野町 (釜伏峠) 2-IV-'76 ♀・♂・♀.
- 26) *C. quadrinotatus* FOREL ヨツボシオオアリ
 寄居町波久礼 2-IV-'76 ♀・♀, 東秩父村 (二本木峠) 20-VI-'74 ♀.
- 27) *Polyrhachis lamellidens* FRED. SMITH トゲアリ
 東秩父村 (二本木峠) 23-IX-'74 ♀
- (注) 皆野町: 埼玉県秩父郡皆野町, 東秩父村: 埼玉県秩父郡東秩父村, 寄居町: 埼玉県秩父郡寄居町. ♀……雌アリ, ♂……雄アリ, ♀……働きアリ, ♀……兵アリ をしめす

【ま と め】

- 1) 外秩父山地北部において4亜科17属27種のアリを記録した。
- 2) 標高が低いという理由により、埼玉県下の平野部と、ほとんど共通な種類のアリが採集されている。

- 3) ナフヨツボシオオアリは、主に樹皮下に営巣するアリで、それほど多に種類ではないが、二本木峠・釜伏峠付近のアカマツの樹皮下においては、非常に多くの営巣が確認されている。
- 4) エゾアカヤマアリが海拔600m地点の、しかもこのような海拔高度の低い丘陵地帯で採集された

(参考文献)

1. 大沢 守一 (1970) 栃木県産アリ類目録, インセクト 21: 1-11.
2. 小暮 保 (1971) 日本のアリ, (自刊, 62pp.).
3. 近藤 正樹 (1969) 箱根地方のアリ類, 箱根博物 1: 16-27.
4. 園部 力雄 (1977) 日本産のアリ (3) Formica属, 蝶 8: 1-3
5. Rikio Sonobe (1977) ANT FAUNA OF MIYAGI PREFECTURE, JAPAN., Jap. J. Ecol. 27: 111-116.
6. Masao Kubota (1971) A CHECK LIST OF THE ANTS OF JAPAN. 34pp. (Published by the author).
7. 久保田 政雄・近藤 正樹・今井 弘民 (1966) 圃場にみられるアリの見分け方 (1), 植物防疫 20 (9): 396-400.
8. _____ (1966) 圃場にみられるアリの見分け方 (2), Ibid. 20 (10): 27-31.

XX

ヒメアカタテハの産卵
植物について

松本 和馬

古い記録ではあるが、1971年8月28日ヒメアカタテハ 1♀がゴボウとダイズの両方に産卵するという一例を目撃しているので報告する。

場所は埼玉県与野市八王寺の台地上の畑地であり、図のような配置でゴボウ畑とダイズ畑が並んでいる。図中のニラの花にはヒメアカタテハがよく訪れることがあったので、この日もそれを採集に行ったおりの観察であったように記憶している。当時の野帳には、「ゴボウに多く産卵し、ダイズにはあまり産まない。」とのみ記してあり、産卵数を記していなかったのは残念である。

図鑑にはゴボウもダイズも本種の食草として挙げられているので、さして疑問にも思わなかったが、ダイズが食草となった例は北海道に(わずかに?)あるだけらしく(学研中高生図鑑 昆虫I, 原色日本蝶類図鑑, 原色日本昆虫生態図鑑IIIなど)本州での記録を見ない。科を異にする二つの植物に、交互に産卵したというはおもしろい現象だと思う。

(〒920 金沢市 土清水 8 ~ 87

高沢アパート)

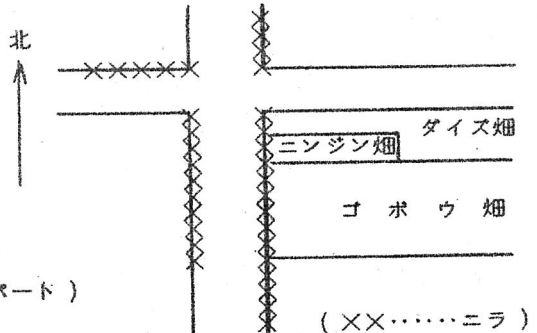
上江橋付近で

キンイチモンジセセリ

原 聖樹

1978年9月9日、16:30~17:40(晴)。国道16号線上江橋北側の荒川堤防(川越市内)にてキンイチモンジセセリを得た。新産地と思う。採集したのは3♀・1♂で、他に数頭を目撃しているが、いずれも新鮮さをやや欠いた夏型だった。

同時に同地で、キアゲハ1♀・1♂(汚損)、キチョウ1♀(新鮮)、モンシロチョウ1♀(新鮮)、ツバメシジミ1♀(新鮮)のほか、多数のベニシジミ、ヤマトシジミ、イチモンジセセリ、ヒメウラナミジャノメ、ヒメジャノメ等を見ている。



南相木・北相木 7月末の蝶

原 聖 樹

秩父山塊の北方、山塊の長野県側斜面に当る長野県南佐久郡南相木・同北相木の両村において確認した蝶は次のとおりである。

I 調査地

- 1) 1977年7月30日：南相木村三川源流 1500m 付近…… (A)
- 2) 1978年7月30日：北相木村山口…… (B)、白岩～四方原山南側斜面の林道…… (C)、三寸木～木次原…… (D)、木次原～相木川源流 1400m (御座山東側斜面)…… (E)

II 各種の記録

○……新鮮、△……汚損、◎……鮮度中間を意味する。

- 1) ヘリクロチャバネセセリ：1♂○ (C)。
- 2) アカセセリ：1♂○ (A)。
- 3) ミヤマカラスアゲハ (夏型)：1♂◎ (A)、1♂○ (B)、2♂○ (C)、2♂○ (D)、1♂○ (E)。
- 4) キチョウ (夏型)：1♂ (C)、1♂○ (D)。
- 5) ヤマキチョウ (越冬体)：1♀△ (A)。
- 6) スジボソヤマキチョウ：2♀ 6♂○ (A)、2♀ 8♂○ (C)、4♂ (E)。
- 7) モンキチョウ (夏型)：1♂ (A)。
- 8) ウラゴマダラシジミ：2 exs. (A)。
- 9) ヒメシジミ：1♀ 1♂△ (A)、1♂△ (C)。
- 10) ルリシジミ (夏型)：1♂○ (B)。
- 11) テングチョウ：1 ex. (A)、1 ex. ○ (B)、1 ex. ○ (C)、1 ex. ○ (D)。
- 12) ウラギンスジヒョウモン：1♂○ (C)。
- 13) ミドリヒョウモン：2♀ 2♂○ 1♂◎ (A)、1♂○ (B)、1♀ 1♂ (C)。
- 14) メスグロヒョウモン：1♀ (C)。
- 15) ギンボシヒョウモン：1♀○ (A)。
- 16) オオミスジ：1♀○ (A)、2♀○ (C)。
- 17) ホシミスジ：1♀○ (B)。
- 18) コヒョウモンモドキ：1♀◎ 1♀△ (A)、1♂△ (C)。
- 19) サカハチチョウ (夏型)：1♂○ (A)、1♀ 8♂○ (C)、3♂○ (E)。
- 20) シータテハ (夏型)：1♀◎ (C)。
- 21) ルリタテハ (夏型)：1♀○ (C)。
- 22) キベリタテハ：1 ex. (B)、2 exs. (C)、1♂○ (D) ……ハンノキの樹液で吸汁中。
- 23) クジャクチョウ：1♂◎ (A)、1 ex. (C)、1 ex. (E)。
- 24) スミナガシ (夏型)：1♂○ (C)。
- 25) コムラサキ：2♂○ (A)、1♀ 2♂△ (C)、1♀○ (E)。
- 26) ジャノメチョウ：1♂ (A)。
- 27) ヒメキマダラヒカゲ：1♀◎ (E)。
- 28) クロヒカゲ：1♀◎ (C)、1♂◎ (E)。
- 29) クロヒカゲモドキ：1♂◎ (B)。
- 30) キマダラモドキ：1♂○ (C)。
- 31) サトキマダラヒカゲ (春型)：1♀○ (C)。
- 32) ヤマキマダラヒカゲ (春型)：2♂△ (C)、1♀△ (E)。

(〒220 神奈川県津久井郡津久井町中野617 北相寮)

デンマーク西部の T I S T R U P のチョウとガ

斎藤 悟

デンマークの人とチョウ・ガの交称をしているが、T I S T R U P で本年 (1978年) 採集した種が送られてきたので、その採集記録を掲載する。

なお、少量ですが *Smerinthus ocellatus* (ウチスズメの類) のさなぎがあります。

(4月)

22日 *Aglais urticae*

(5月)

9日 *Pieris rapae*15日 *Gonepteryx rhamni*17日 *Inachis io*— *Pieris napi*18日 *Pyrgus malvae*21日 *Callophrys brassicae*24日 *Pieris napi*26日 *Lycaena phleas*27日 *Coenonympha pamphilus*15日 *Pieris napi* ♂

(6月)

1日 *Pyrgus malvae*— *Erynnis tages*— ※*Opisthograptis luteolata*3日 *Clossiana selene*— *Erynnis tages*4日 *Melitaea cinxia*

(…come out of the pupae)

12日 *Coenonympha pamphilus*13日 *Pieris rapae*14日 *P. brassicae* ♀— *Polyommatus icarus* 3♂15日 *P. i.* ♂— *Cyaniris semiargus* ♂16日 *Ochlodes renatus* 2♂・♀— *Clossiana selene*28日 *Polyommatus icarus* ♂・♀— *Maniola jurtina* ♂・♀29日 *Cyaniris semiargus* ♀

(7月)

10日 *Aphantopus hyperantus*— ※*Zygaena lonicerae*15日 *Aphantopus hyperantus*— *Pieris rapae* ♂— *Aphantopus hyperantus*— *Aglais urticae*17日 *Aphantopus hyperantus*18日 *Pieris rapae*— *Aphantopus hyperantus*22日 *Adopaea flara*— *Aphantopus hyperantus*— *Maniola jurtina* ♂・♀・♂— *Pieris napi* ♂26日 *P. brassicae* ♀— *P. napi* ♂29日 *Adopaea flara* ♂・♀— *Maniola jurtina* ♀— *Pieris napi* ♀

(8月)

1日 *Aglais urticae*2日 *Pieris brassicae* 2♂9日 *Plebejus argus* ♀— *Pieris rapae* ♀— *P. brassicae* ♀— *Aglais urticae*— *Inachis io*10日 *I. io*12日 *Plebejus argus* ♂— *Lycaeides idas* ♂20日 *Aglis urticae*

(※……moth)

(7月)

5日 *Pieris napi* ♂— *Aphantopus hyperantus* 2exs.— *Clossiana selene*— *Coenonympha pamphilus*— *Maniola jurtina* ♂— *Polyommatus icarus* ♀

(〒356 上福岡市 南台 2-7-7~301)

秩父・武甲山の蝶(2)

加藤 輝年

◀ 数種についての覚え書 ▶

前回8科67種を記録したが、過去に記録のあるもので筆者に確認できなかったものに次のような種がある(ただし文献渉獵は完全でなく、いくつかは孫引)。

- 1) コキマダラセセリ (須田, 1958)
- 2) エソスジグロシロチョウ (碓井, 1976)
- 3) ウラキンシジミ (原, 1963)
- 4) ウスイロオナガシジミ (市川・原, 1978)
- 5) メスアカミドリシジミ (須田, 1958)
- 6) スギタニルリシジミ (市川・原, 1978)
- 7) ヒョウモンチョウ (大野, 1964) ※
- 8) アサマイチモンジ (碓井, 1976)
- 9) コジャノメ (碓井, 1976)

これらのうちコキマダラセセリとヒョウモンチョウは、筆者も特に注意していたが、見つからなかった。ミドリシジミ類やエソスジグロシロチョウなどは調査不足の感がある。

その他ではゴイシシジミとサトキマダラヒカゲが、上記スギタニルリシジミと同じく橋立から記録されている。しかし、山ろく部での筆者の調査範囲は便宜的なもので、その境界付近での他の研究者の記録は詳細がわかりにくいので、矛盾もあるが今回は除いた。

◀ ひとまずのまとめ ▶

調査が雑なので詳しいことは今後の研究にまっことして、ここではジャノメチョウ科を例にとり武甲山の蝶相の一面にふれてみたい。

定量的な調査を行なったわけではないが、一般にジャノメチョウ科の個体数は少ないようである。比較的そのことが目立つものとしてヒメキマダラヒカゲがあげられる。たとえば本種は、すぐ近くの標高もあまり変わらない武川岳(1,052m)では多産するというし(大野, 1964)、奥秩父の三峰山付近などでもかなり多い。市川・原(1978)は県内の本種の分布について、奥秩父全域の海拔1,000m以上の山地におけるササ類の分布と完全に一致し、

※ ヒョウモンチョウは武甲山の近くでは、奥武蔵の堂平山で茂木寿氏が採集しているというが(サンケイ新聞埼玉版1972年8月3日付)詳細は不明。

三峰山～雲取山あるいは山梨・長野・群馬との県界尾根やその周辺に多産するが、奥武蔵高原には少ない、と記している。武甲山では、筆者の調べた限りでは本種は山頂付近にのみ見られ、しかも個体数は極めて少なかった。

おそらく、本種が武甲山で少ないのは地質と関連したものであろうと思われる。一般に武甲山のような石灰岩地帯は土壌の発達が悪く、そのために保水性も悪いといわれている。いいかえれば相対的に乾燥の条件になる。そのことと、土壌にカルシウムが多くアルカリ性であるということが原因して、日本のブナ林の林床を特徴づけているササ類は石灰岩地帯では少なくなってしまうらしい(堀田, 1974)。したがって、ササ類のみを食草としていると想像される本種の個体数が少ないのであろう。

ジャノメチョウ科の他の種についても、やはりササ類を主要食草としていると思われる種は、個体数が少ないか、あるいは山ろく部には見られても今回のおおまかな調査では中腹以上からは見つからなかった。

一方、同じジャノメチョウ科でも、おそらくスゲ類を食べ(筆者はスゲ類で飼育している)、旧北区に広分布するウラジャノメが山頂付近で普通に見られるのは特徴的である。

なお、いわゆる奥武蔵高原にヒメキマダラヒカゲが少ないのは、おもに標高・地質・植林などが関係しているのであろう。この地域はおもに三波川系の結晶片岩から成り、風化しやすいためになだらかな高原状の地形をしている。※

水はけも一般によいようで、アサマシジミやハヤシミドリシジミなどがこの地質によくむすびついているように思える。これについては次ページの分付図を参照されたい。前記2種に加えウラジロミドリシジミ

※三波川系結晶片岩はおもに緑色片岩と黒色片岩とからできているが、前者の原岩は塩基性の火山噴出物や溶岩であり、後者のそれは泥岩・砂岩・チャートなどの堆積岩であるという。

も産する堂平山付近のゆるやかな地形や蝶相などは、関東ローム層[※]をのせていることにもよるのであろうが、詳しいことは今の筆者にはわからないし今回はふれない。

＜あとがき＞

筆者の主目的が山単位でみた地域的特性の抽出にあるので、たとえばモンキアゲハやモンシロチョウで代表される新期侵入者の問題、その他多くが省かれている。小持山・大持山へと続く南尾根をまったく調べていないのも気になる。今後多くの人により調べられることを期待したい。文末ながら、付図などでお世話になった市川和夫氏にお礼申し上げる。

文献(5,7,8,9,14,15は牧林功氏のとめられた文献カードの抄録による)

1. 市川和夫・原 聖樹 (1978) 埼玉県の蝶類, 県教育委員会編埼玉県動物誌.

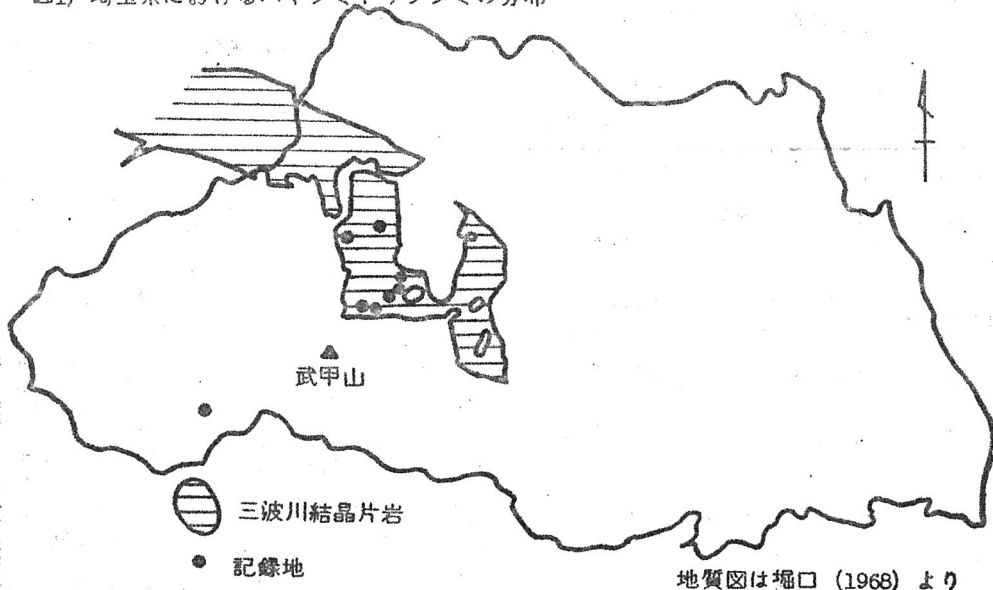
2. 碓井 徹 (1976) 埼玉県における巢瀬氏の蝶の採集記録より, 寄せカ記 (17).
3. 大野正男 (1964) 奥武蔵の昆虫たち, 奥武蔵 (100).
4. ——— (1969) 栃木県におけるハムシ研究の手引—特にファウナのまとめ方を中心として—, インセクト20 (2)
5. 笠原敏雄 (1964) 秩父地方の蝶類, Jupiter (14).
6. 加藤輝年 (1975) 埼玉県武甲山でヘリグロチャバネセセリを採集, 昆虫と自然 10 (2).
7. 清水古寿 (1953) モンキアゲハ秩父武甲山に産す, 採集と飼育 15 (4).
8. 須田孫七 (1958) 秩父の蝶, はばたき (27)
9. 原 聖樹 (1963) 奥武蔵の蝶—分布調査の対象となるような種類について—, Batatas (6).
10. 日浦 勇 (1973) ベニモンカラスジミをめぐって, すずむし (110).

※ 参考 埼玉県下の関東ローム層対比表 (堀口, 1968より)

南関東	埼玉県南部	埼玉県北部	北関東
立川ローム層	立川ローム層	大里ローム層	上部ローム層
武蔵野ローム層	武蔵野ローム層	新期ローム層	中部ローム層
下末吉ローム層	金子ローム層	金子ローム層	下部ローム層
	羊山ローム層	羊山ローム層	
多摩ローム層	多摩ローム層	安立ローム層	

11. 藤岡知夫 (1975) 日本産蝶類大図鑑, 講談社.
12. 堀田 満 (1974) 日本列島の植物, 保育社.
13. 堀口万吉 (1968) 埼玉の地質をめぐって, 築地書館.

図1) 埼玉県におけるハヤシミドリシジミの分布



14. 矢野重明 (1963) 奥武蔵の虫相に関する私見—系統的因子を中心に—, Batatas (6) .

15. 山田兼則 (1967) 武甲山のフジミドリシジミについて, Family (19) .
(357- 02 飯能市坂石町分1 1 8)

短 報

県南部の珍しい記録

星野 正博

1. クマゼミ

浦和市下木崎 2-Ⅷ- '77 1♂ (声)
与野市下落合 12-Ⅷ- '78 1♂ (声)
いずれも朝7:45ごろ聴いた。

2. ウラギンシジミ

与野市下落合 14-Ⅷ- '78 1♀ (採)
与野市内ではほとんど見かけないが、過去2回目撃している。

3. キンイチモンジセセリ

19-Ⅷ- '78 与野市下落合 1ex (目)
近くに田畑もない住宅地で、はじめて見た。

市川・原 (1978) によれば、県東部に記録がないようであるが、草加市青柳町の草加高校グラウンド及び近くのチガヤにて毎年発生しており、また越谷市南越谷駅近くの草地でも目撃している。したがって中川流域を調査すればかなり発見できるものと考えられる。

(〒338 与野市下落合561)

コエビガラスズメ と ゴマシオキシタバの採集記録

矢島 嘉和

1. コエビガラスズメ

志木市慶応高校々内 26-Ⅷ- '74 1♂
朝6時ごろオオマツヨイグサにホシホウジャクと共に飛来したのを採集。(筆者保管)

2. ゴマシオキシタバ

志木市役所 22-Ⅷ- '78 1♂
昼ごろ、とり壊している家の柱に止まっていたのを採集。(筆者保管)

(〒351 朝霞市田島500-12)

長静でアゲハモドキ

山田 兼則

秩父郡長静町 21-Ⅷ- '78 2exs.

午後1~2時の間に、2頭のアゲハモドキが道ばたの林縁の下草に静止していた。ちょうど日陰になっている所であった。

(〒330 大宮市大和田町1-1230-26)

目 次

野沢 雅美 三峰山半シ類採集記189
寺山 守 登谷山・二本木峠・釜伏峠周辺のアリ類191
松本 和馬 ヒメアカタテハの産卵植物について193
原 聖樹 上江橋付近でキンイチモンジセセリ193
—— 南相木・北相木7月末の蝶194

斎藤 悟 デンマーク西部のTISTRUPのチョウとガ195
加藤 輝年 秩父・武甲山の蝶 (2)196
星野 正博 県南部の珍しい記録198
矢島 嘉和 コエビガラスズメとゴマシオキシタバの採集記録198
山田 兼則 長静でアゲハモドキ198